

村半利活用検討会(令和2年度第2回)結果報告

日時 令和2年8月7日(金) 16時00分～17時10分

場所 村半 大会議室

出席者 検討会メンバー7名、事務局(企画課)2名、村半スタッフ1名

内容

1. 開会あいさつ

新型コロナは第2波といった状況、お盆などをむかえ、村半でも対策を徹底中

市民や事業者への影響が非常に大きく、市では総合窓口を設けて対応中

7/6以降の豪雨災害も市内の被害が甚大

7/1の村半開所後、大きな問題なく推移、絵画の安全対策やツアー開催など検討会の意見を反映
大学連携センター推薦の構成員が人事異動により交代(新任の武藤氏より挨拶)

2. 報告事項

(1) 利用登録の状況について

個人(うち学生の内訳)、団体登録について、資料に基づき説明

(2) 利用者等実績について

利用者(供用、占用)及び一般開放による入所者数、占用利用の状況について、資料に基づき説明

(3) 今後の占用受付について

8月以降の受付済みの案件等について、資料に基づき説明

<意見交換、質疑> メ:構成メンバー、事:事務局

メ:観光客が村半を無料で見学できることで、入館料の必要な民間施設への影響が心配されるため、他の施設などを紹介してもらいたい

メ:近くの施設において、相互に連携を取ることは望ましい

メ:村半を見学したから、もう施設入所は良い等とならないよう、下町エリアへの観光を促してもらいたい

事:下町の活性化は、高山市のまちづくりの課題でもあるため、それぞれの特色ある施設を回っていただけるようPRしていきたい

メ:新聞に主屋「しゅや」と出ていた、その読み方は調べる限り出てこないが、根拠はあるのか

事:かなり以前に、文化財課から教えてもらった読み方を使い続けていると認識している

メ:文化財(庁)では「しゅおく」と呼ぶため、そのように教えることはなく、「おもや」ならば分かる

事:他市の登録文化財で、「しゅや」の読みを使っているケースが複数あることは確認している

メ:文化財的には「しゅおく」と呼ばれるが、「しゅや」でも通じなくはないかと思う。村半に掲出しているのか

メ:主屋の入口の立て看板に読み仮名がふってあるものを、岐阜新聞で取り上げられている。文化財用語では「しゅおく」、建築用語でも「しゅや」は無いとのことなので、どこにも通じない言葉ならば、修正してもらいたい

事:確認して対応する

メ:以前、この検討会に文化協会の構成員を追加するよう求めたが、どのようになっているか

事:会長にすぐ相談し、その後のフォローを怠っていたが、人選に苦勞されていると考えていた

メ:人選はできていると聞いた

事:はじめて聞いたため、確認することとする

メ:これだけの施設のため、幅広く使ってもらうためには同会からの参画を得るべきと考える。必要ないと判断されれば仕方がないが

メ:先日「高校生会議」で村半を使った、他にも自主学习などでも学生が利用してみえて嬉しく思った公民館や図書館を所管しているが、業界団体からコロナ対策のガイドラインが出されており、食器類は共用しないことになっているため、貸出をやめている。使うならば、その都度、消毒することが求められる

台所を利用者が使えるのは良いことと思っているが、土足で調理することが適当か、保健所に認められているのかが気になる

メ:土足による調理は問題なく、自身が経営する店舗も土足である

メ:公民館では履き替えてもらっているため気になったが、問題ないということで理解した

事:食器類の扱いについては、ガイドラインを再確認し、順守できるように対応する

メ:コロナの影響が来年も続くと思込まれるなかで、運営面でなかなか難しいところがある

メ:例えば高校生が土蔵で学習等をしている時に、観光客は中へ入れるのか。コロナ対策もあるため、入れないようにすることも考えるべきでは

事:土蔵の利用者がある時にスタッフが積極的に中まで案内することはしていないが、基本は扉が開いており、共用して自由に使えるというスタイルのため、入っていかれる観光客もある

事:主屋は案内するが、土蔵は「利用者があるの」と中への案内はしていない。外からのぞき見る程度で、中へ入っていかれる人は少ないが、入室を断るまではしていない

事:利用者数が多い日は、大会議室に机を並べて学生専用の自習室とし、それ以外の見学者等はいれないようにする運用を行っている

メ:地元利用者と観光客は、できるだけ接点を無いようにしてもらえたらと思う

メ:限られた生徒たちかもしれないが、利用させてもらっていることはありがたい。利用している生徒に聞いたところ、「快適であり、狭いスペースということもあり、図書館よりも落ち着く」などと話していた。

斐太校生以外にも利用が広がると望ましいため、コロナの状況も見ながら、周知を進められるとよい

メ:個人的にも利用しているが、8/2 高校生会議の際に北蔵 2 階は占用中の看板が出ていても、観光客が気付かずに上がっていく場面があったため、立入禁止であることを分かり易くすると良いと感じた

冷蔵庫を共有で使っていることなどについて、この 1 か月利用者同士のトラブルはなかったか

事:土蔵などは木製の A 型看板、主屋では黒いスチールの看板を動線上に掲出し、「ぜひ見学して欲しい」のか、「入室お断り」なのか、景観に配慮しつつ標示している。看板を見ずに入ってしまう方がいるため、心配されたような状況があったものと思われ、目立ち易くするなど考えたい

事:台所を含む室内における利用者間のトラブルは、無かったものとする

事:冷蔵庫利用にあたっては、個人所有物にマジックで名前を書けるようにしているが、所有者不明の紙パックの牛乳が賞味期限切れとなり処分したケースがあった。休日にお弁当等の保冷場所に利用されていることがある。仮に物が無くなっても施設としては責任を取れなかったり、悪意による行為を防ぎきれない等の心配はある

メ:台所内に監視カメラはあるのか

事:出入口を写し、いつ誰が出入りしたかは分かるようにしている

メ:冷蔵庫はどういった利用を想定して置いているのか

事:飲み物やお弁当の保冷(食中毒の防止)、郷土料理教室などでの利用を想定

メ:衛生面や悪戯の心配などから、使用後は持ち帰ってもらう、残っていれば廃棄するという運用にすべき

事:一日毎に、点検し処理していった方が良いという意見と理解した
メ:高校生が勉強に来て、冷蔵庫を使用することもあるのか
事:飲み物を保冷するなど、あると思っている
メ:例えば図書館には冷蔵庫がないが問題なく、そのような施設は例がないのでは
メ:利用者は、一番長くて何時間くらい利用していくのか
事:休日は朝から夜まで滞在し、昼食、夕食を所内でとる利用者もあり、関係の飲食物を保冷される場合がある
メ:毎日処分して空にすれば、良いのではないか
事:ごく少量だが、職員が個人的に入れていた調味料等もあり、それをどうするかということもある
メ:高校生がそれを勝手に使うこともあるのか
事:他人の物は黙って使わないと思っているが、入っていれば使えてしまう状態ではある
事:スタッフも毎日冷蔵庫を使用するが、いつもと異なる物品が入っていればすぐに分かり、これまでに気が付いて処分したものは、牛乳パック1本のみだった
熱中症対策などのため、スポーツドリンクや熱さましなどは冷蔵庫に常備しており、「村半」と記入して、数量を管理している。これまでに勝手に数量が変わったようなことは無い
メ:唾液を介した感染が現在のところ最もリスクが高い。先程話題の、高校生が学習している中に観光客が入ること、仮に会話があったとしても、双方マスクを着用しているため、感染のリスクは低いと思われる
飲みかけのペットボトルを誰でも使える状態にしておくのは、コロナ対策が求められる時期に特に心配を感じる。また、不特定多数が来所されるなか、飲み物に異物を混入される等の可能性も否定できない
メ:温度管理したいならば利用者が魔法瓶等を持参すれば良いし、スタッフが使用するならば控室に冷蔵庫を置けば良いため、利用者等が使えるところに冷蔵庫は置かない方が良いのでは
メ:今後、台所で調理する場合は、冷蔵庫が必要となることもある
事:全く使えなくするのは備品として購入設置しているなかで厳しいため、ご意見のあった危険等が生じない運用方法を検討したい
メ:警備保障の連絡先はどこにしているか
事:警備会社は日本ガードで、市役所の固定電話のほか、課長・係長・担当者等の携帯電話を登録している。この数か月で異常感知による発報も数回あり、不審者によるものではなかったが、朝日を感じたと思われるケースもあったため、感度を弱めるなど調整してもらった
メ:閉館後も悪意の者が所内に潜んでいたらどうなるのか
事:職員が退所時に警備機器のスイッチを入れるため、潜んでいた不審者の動きを感知し発報する
メ:火の不始末により火災が発生した場合、どのようになるのか、連絡はどこへどう行くのか
事:許可なく火気使用はさせないため、火の不始末を原因とする火災は起きにくいと思っているが、煙など異常を感知した場合、市役所や職員個人の携帯のほか、近隣住民の自宅へも自動で電話連絡が行くようになっている(グループ自火報ではないが、それと同じような状況を構築している)
メ:施設を見させてもらって非常に良いと感じた。先ほどの話題にもあったが、地元の学生と観光客が同じ空間を利用することについては、何らか配慮が必要と考える
市内高校の文化系の部活動などは、口コミで広まり、利用につながるのではないかと。コロナの感染状況等を踏まえる必要があるが、今後は高校の枠を超えた交流につながっていくことが望ましい

3. その他

(1) 見学者が蜂に刺された件の状況と対応の報告

メ:救急箱は常備しているのか、応急処置はしたのか

事:救急箱はあるが蜂刺されに有効な軟膏などは常備しておらず、薬局に電話し、薬を購入してきて対応した

メ:黄色スズメバチなどは命に係わる危険性が高いため、最小限の処置用に、毒を抜く器具があると良い

メ:洗濯物などにも蜂が隠れている場合があるため、注意が必要

(2) 村半に相応しい賞などがあれば応募したいため、情報があれば紹介してほしい

4. 閉会あいさつ

熱心な議論に感謝

指摘いただいたことには順次対応していきたい

こういう状況のため、安全安心な施設運営を心掛けていきたい

以上